

オンリーワン



バリアフリー
ペーパー

2月号

平成 25年2月19日発行

偶数月発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

暦の上では立春を過ぎ、雨水（うすい）という季節になっています。しだいに温くなるので雪が「雨」になり氷が溶けて「水」になる、という意味で「雨水」と言うそうです。春一番が吹くのもこの時期とのこと。しかし、本格的な春の訪れはまだ遠く、寒い朝が続きます。私は『自分だけは大丈夫！』と思って油断していたのか、先日インフルエンザにかかりました、みなさん体調を崩さず春まで乗り切ってくださいね！
(支援センター 武市)

平成24年度障がい者パソコン講座

平成24年度のパソコン講座も無事終わりました。参加者の感想を一部紹介します！

- *会社勤めも残りわずか1年半となった時点で大病を患い、大きな障がいが残ってしまいました。好きなスポーツもできなくなった影で、1日の生活をただ茫然と過ごしていました。先生方の生き生きとした活動ぶりを目のあたりにして、自分自身ももう少ししっかりとした目標を持ち毎日を充実して過ごしたいと思いました。(Hさん)
- *自分自身が障がい者となって仕事をするうえで、パソコンを勉強しようと思っていた時に障がい者就業・生活支援センターよりこの講座を紹介されて始めました。先生方に優しく指導していただけるので、毎回楽しく勉強させていただいています。(Yさん)

援助金を有効に役立て...

昨年の11月に『ソロプチミスト日本財団活動資金援助』として活動資金を賜りました。

- 📌 今まで「障がい当事者グループオンリーワン」としてなかなか大きな買い物が出来ませんでしたが、このたび取材用のデジカメや機関紙編集ソフト、プロジェクターを置く机などを購入することができ、嬉しさがこみ上げました。
- 📌 「障がい当事者グループオンリーワン」が講師を担当するパソコン講座では、より良いサポートができるよう一層力が入り、講座参加者も熱心に学びながらも笑顔がこぼれ、優しい雰囲気にも包まれた講座を実施することができました。
- 📌 今後も感謝の気持ちで活動を続け、心と技を磨き続けて行きたいと思います。
- 📌 私達の活動を支えてくださる『国際ソロプチミストいしづち』の皆様や地域の皆様に、これからの活動も見守っていただきたいと心より願います。(梅野)

(イラスト しんすけ)



当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)

氷見授産場障害者事業所ピースへ行ってきました！

氷見授産場障害者事業所「ピース」は、平成 23 年 4 月 1 日より就労継続支援（B 型）事業所として開所し、定員 20 名（登録者 21 名）、月曜日～金曜日 9 時～16 時まで作業をおこなっています。主な作業は以下のようなものです。

- 電線・・・様々な電線を加工する作業
- 封筒・・・封筒枚数を整え、袋入れやシール貼りを行う
- 農作業・・・柿・キウイの収穫や稲刈りなど農家のお手伝い等
- 黒茶作業・・・「天狗黒茶」を作るために、お茶の木を切ったり蒸したりする作業
- その他・・・柿渋製品（うちわやペンケース）の作成や販売、軽作業など



作業風景



黒茶作業は、小松の婦人会（さつき会）のみなさんと一緒に作業をおこなっており、全国で 4 か所でしか生産されていない珍しいお茶で、昨年は米国ワシントン州のピュージェット・サウンド大学から、黒茶研究の為の視察訪問があったそうです。

『西条の特産品』として黒茶販売を充実させていきたいそうです。私も天狗黒茶を飲ませていただきましたが、くせもなく飲みやすいお茶でした。

〒793-0072 愛媛県西条市氷見乙1989番地1

電話 (0897-57-9003) fax (0897-57-9003)

社会福祉法人 西条市氷見福祉協会 氷見授産場障害者事業所ピース

《就労継続支援(B型)とは》

☆一般企業での就労が困難で雇用に結びつかない方や、一定の年齢に達している障がい者に、就労や生産活動の機会を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。



《天狗黒茶とは》

☆西条市小松町石鎚地区では古くから特殊な製造方法で発酵茶「石鎚黒茶」が作られていました。その製法の継承が途絶える危機にさらされましたが、地元の「さつき会」が製造技術を学び、試行錯誤を繰り返した結果、平成 11 年より「まぼろしの天狗黒茶」として販売を開始しました。

日本で作られている発酵茶は、高知県「碁石茶」・徳島県「阿波番茶」・富山県「バタバタ茶」が現存しているのみで、これらの製造方法はそれぞれ異なり、地域特有のものだそうです。

全国 4 ヶ所だけでしか生産されていない珍しいお茶「まぼろしの天狗黒茶」を皆さんも味わってみませんか。



曾我部林造さんにお話を伺いました！

林造さんはピースで働くメンバーのひとり。独特の色彩と画風で存在感のある絵を描く48歳の男性です。



その才能が開花したのはここ数年。2～3年前から自分で画用紙を買ってきて自宅で描き始めたそうです。林造さん自身は子どもの頃『皆に負けとったから絵を描くことには興味がなかった』そうですが、大人になり、ポストカードに絵を描き始めたのがきっかけで、『絵を描くことが好き』になったそうです。

子どものころから特に「ニワトリ」好きだったので、当初はニワトリをモチーフにした絵を描くことが多かったのですが『動物や子ども、自然も描くようになり、次第に絵の世界観や色彩が豊かになってきてきた』と職員の皆さん。



【林造さんの作品の一部】

【林造さんお気に入りの2枚】

当初はペンを持つ指が痛くなっていたそうですが、今は慣れてきたそうです。数日～1週間ほどで描き上げるときもあれば、時間がかかる作品もあり、ほめられると『うれしくてまた書こう』という気持ちになるそうです。染色家の方と共同で展覧会をした時に、林造さんの絵が売れて「とてもうれしかった」とのこと。愛媛新聞に林造さんが絵を描いている記事が載った後、購読者のご厚意でイラスト用の多彩なペンを贈ってもらうなどの反響もあり、ますます創作意欲が高まっている林造さん。絵の話をしている時の林造さんの笑顔がとても明るく楽しそうでした。林造さんの穏やかなキャラクターと個性的な絵のファンになりました。

ピースの温かさは人の温かさ

取材の最後に、職員の篠塚さんにお話を伺いました。「地域の人たちとのご縁や関わりを大切にしながら、ピースに集うみんなでお互いに助けあいながら成長してきたと思う。障がいのある人たちの集う場所というだけでなく、学校へ行っていない子ども達の居場所にもなっている。少しでも給料がアップできるように、これからも地域の皆さんに支えていただきながら、つながりを大切にしてゆきたい。」とのことでした。

現在は、バリアフリーのトイレと作業後に汗を流せるようにシャワー室を取り付ける工事をしているピース。今後も人の温かさが集う場所「ピース」であり続けてほしいと思いました。皆さんこれからも体調に気を付けて笑顔で頑張ってください。(柳瀬)



のぶちゃんのページと



「星祭り」

2月3日石槌神社節分星祭りへお参りに行ってきました。星祭りとは「それぞれが持って生まれた「星」に神様の守護を受けて七難即消・七福即生ができるように祈願するお祭り」だそうです。大勢の方が参拝に来ていました。

撮影：のぶちゃん

つぶやきの窓 by HIRO

先日、母が炭酸ガス(CO₂)入りの入浴剤を買ってきました。

私は呼吸器疾患があるので、血液検査では炭酸ガスの値が高いです。これは呼吸が十分できていないことを表しています。ですから、私にとって炭酸ガスにはあまり良い印象がありませんが、どのような効果があるのか気になり調べてみました。

炭酸ガスは皮膚から浸透して末梢の血管を広げ、血流を良くする働きがあり、肩こりや腰痛などを緩和できるそうです。また、血流が悪くなって起こる床ずれや皮膚の潰瘍などの治療や予防にも効果が期待されているそうです。

炭酸ガスが必要な部分とそうでない部分で、自由にやりとりできたら良いのになあと感じました。

バレンタインデー



← パソコンで描いたイラスト
美奈子さん作

投稿コーナー「たしっぽ」

ひもと 根付いて久^{ひさし} バレンタイン
私も今年の 義理果たしおり

美奈子詠

毎年、商業主義に踊らされてるなと思いつつ・・・

編集後記

昨年末に両膝の手術を受け約2ヶ月の入院生活を送りました。健康な体がどんなに有り難いかを思い知りました。退院して久しぶりにオンリーワン編集会議に出席しました。編集委員の皆は不自由な身体に前向きに向き合い、ハンディをもろともせずイキイキと活動しています。私は編集委員の中では最高年齢ですが皆のパワーを頂き、そのエネルギーが私の潤滑油になっています。人との繋がりを大切にしながら、これからも皆と一緒に頑張りたいと思います。(麗子)



発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL : 0898-64-2600 (代) FAX : 0898-64-3920 E-mail : soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp